

# まつぼっくり

学校教育目標「支え合い・学び合い、多様な達成感を体感し、ふるさとを愛する児童の育成」  
～当たり前のことをきちんとやる人材育成をとおして～



宇城市立三角小学校  
学校だより 第24号  
文責 校長 西村羊治  
令和7年6月27日

## 貴重な体験

27日(金)5年生は1時間目から3時間目を活用し、戸馳島まで行きました。目的は、「田植え」の体験です。三角小学校の周辺には田んぼがなく以前から戸馳にある田んぼを利用させていただき、田植え体験をしています。現在、日本各地で人口減少や高齢化等により、コロナ禍以降多くの行事や催しが縮小したりなくなったりしています。三角地区においても例外ではありません。



苗についての説明

今回、5年生が田植えの体験ができたのは、学校運営協議会委員の池田和喜様、土地改良関係の田尻千恵様、戸馳アグリグループの方々、戸馳運輸の尾崎様、他地域の方々、スクールバスの運転手様、いろいろな方の協力あっての実現です。本当に有り難く感謝してもしきれません。

当日朝、学校を出発して戸馳の尾崎様の戸馳運輸に到着。スクールバスを降り、戸馳運輸の大きな倉庫の日陰に整列。そして、池田様はじめ田植えをご指導くださる方々にあいさつ。「よろしくお願いします。」心を込めてあいさつすることができました。そして、池田様からの苗や苗植えの説明を聞き、早速田んぼに入ります。子どもたちは、入ったとたん「わー、キャー、おお～」などたくさんの感動・驚きの気持ちの声を出しました。田んぼに入ってすぐは、戸惑いもありましたが、すぐに要

領を得て田引ロープの赤い印の所に苗を数本ずつ植えていきます。ほとんどの児童が初めての体験でしたが、

予想以上によくできました。指導してくださる地域の方も「結構きれいに植えとるばい。」と感心しておられました。時間の関係で10列以外の残りは、田植え機で植えていただきました。その後は、宝探しでさらにどろんこになり、本当に貴重な体験がきました。スイカをごちそうになりお土産まで



池田様からの説明



1列に並んで



きれいに植えとるばい



お世話になった方々 他にもおられます

いただき、至れり尽くせりでした。

池田様、田尻様はじめ地域の方々の温かい愛情をいっぱいに受けた子どもたちは、益々お世話になった方々、自分のふるさとを愛する子に育ってくれることと思います。今回お世話いただいたすべての方々、本当にありがとうございました。